2026年９月期　決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月13日

上場会社名　　株式会社ケイ・ウノ　　上場取引所　名
コード番号　　259A　　ＵＲＬ　https://www.k-uno.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役CEO　　（氏名）青木　興一
問合せ先責任者　（役職名）取締役CAO兼執行役員　　（氏名）渡沼　和則　　ＴＥＬ　080（7638）1240

定時株主総会開催予定日　2026年12月25日　　配当支払開始予定日　－
有価証券報告書提出予定日　2026年12月24日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年９月期の連結業績（2025年10月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績　　（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年９月期	7,891	12.7	179	75.0	81	7.7	△29	－
2025年９月期	7,004	5.2	102	△60.8	75	△67.7	22	△86.3

（注）包括利益　2026年９月期　△30百万円（－%）　2025年９月期　25百万円（△83.6%）

	１株当たり当期純利益	潜在株式調整後１株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年９月期	△27.55	－	－	1.6	2.3
2025年９月期	21.87	21.13	2.0	1.7	1.5

（参考）持分法投資損益　2026年９月期　△86百万円　2025年９月期　△22百万円

（注）１．2026年９月期の潜在株式調整後１株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、１株当たり当期純損失であるため記載しておりません。
２．当社株式は2024年10月８日付で名古屋証券取引所ネクスト市場に上場したため、2025年９月期の潜在株式調整後１株当たり当期純利益については、新規上場日から2025年９月期の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年９月期	5,328	1,239	23.3	1,174.54
2025年９月期	4,542	1,269	28.0	1,203.21

（参考）自己資本　2026年９月期　1,239百万円　2025年９月期　1,269百万円

（３）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年９月期	△136	△187	445	1,142
2025年９月期	△44	△139	191	1,021

２．配当の状況

	年間配当金					配当金総額（合計）	配当性向（連結）	純資産配当率（連結）
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年９月期	－	0.00	－	0.00	0.00	－	－	－
2026年９月期	－	0.00	－	0.00	0.00	－	－	－
2027年９月期（予想）	－	0.00	－	0.00	0.00		－	

３．2027年９月期の連結業績予想（2026年10月１日～2027年９月30日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期（累計）	4,176	8.8	123	17.6	96	△17.3	48	△37.0	46.39
通期	8,356	5.9	250	39.5	208	156.7	125	―	119.08

※　注記事項

（１）期中における連結範囲の重要な変更：無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

（３）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年９月期	1,055,200株	2025年９月期	1,055,200株
② 期末自己株式数	2026年９月期	―株	2025年９月期	―株
③ 期中平均株式数	2026年９月期	1,055,200株	2025年９月期	1,042,772株

※　決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１.経営成績等の概況（４）今後の見通し」をご覧下さい。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は、2026年11月13日（金）に当社ウェブサイトおよびTDnetに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当期の経営成績の概況 …… 2
（２）当期の財政状態の概況 …… 3
（３）当期のキャッシュ・フローの概況 …… 3
（４）今後の見通し …… 3
２．会計基準の選択に関する基本的な考え方 …… 4
３．連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）連結貸借対照表 …… 5
（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書 …… 7
連結損益計算書 …… 7
連結包括利益計算書 …… 8
（３）連結株主資本等変動計算書 …… 9
（４）連結キャッシュ・フロー計算書 …… 10
（５）連結財務諸表に関する注記事項 …… 11
（継続企業の前提に関する注記） …… 11
（セグメント情報等の注記） …… 11
（１株当たり情報） …… 12
（重要な後発事象） …… 12

１．経営成績等の概況

（１）当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、雇用・所得環境の改善に加え、AI・半導体関連銘柄を中心とした日経平均株価の急騰や、円安を背景とした輸出の好調などを受け、緩やかな回復基調で推移しました。

一方、中東情勢の悪化に伴うエネルギー供給への懸念や、円安を背景とした原材料価格の高騰などによる物価上昇の影響から、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが属する宝飾品業界においては、富裕層による高額品の購入が販売を下支えしたほか、物価高に伴う購入単価の上昇により市場規模が拡大しました。一方、金・プラチナ価格の高騰に加え、人件費・包装費・物流費等の上昇が収益を圧迫しており、業界全体として厳しい事業環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは2025年12月に、収益性と成長性の両立を目指す「オーダーメイド戦略」「IP（知的財産）戦略」及びこれらを支える「基盤強化」を基本方針とする中期経営計画（2026年９月期～2028年９月期）を策定しました。「オーダーメイドでお客様に特別な感動と喜びを贈り続ける」というパーパスのもと、お客様一人ひとりにとってのオンリーワンを提供するため、体験価値を重視した質の高いサービスとものづくりの強化に取り組んでまいりました。

当社におきましては、札幌店の移転や横浜本店のリニューアル、オンリーワンのブランドイメージを訴求する広告媒体施策などによる来店の堅調な推移、地金価格の高騰を背景としたリフォーム売上の拡大に加え、2026年１月及び４月に実施した価格改定による客単価の上昇が寄与し、国内店舗の売上高が大きく伸長しました。また、他企業とのコラボレーションによるOEM（相手先ブランドによる製造）商品の販売も好調に推移しました。

原価面では、製造労務費や経費の効率化、タイ子会社における生産拡大などグループ全体で原価低減に取り組みました。また、金・プラチナ価格は2026年５月以降落ち着きを取り戻し始めましたが、原材料の調達から納品までに一定期間を要するため、その影響が原材料費率に反映され始めたのは第４四半期となりました。このため、売上総利益率は前年同期比で低下したものの、下半期後半から大きく改善しました。

子会社である株式会社ユートレジャーにおきましては、推し活の多様化により、年齢・性別を問わず市場規模が拡大しています。2026年１月にオープンした「ユートレジャーコンセプトストア心斎橋」は関西エリアにおける認知度向上を背景に売上が好調に推移しました。また、人気VTuberとのコラボリングやゲームキャラクターをモチーフにしたネックレスなどのヒット商品に加え、純金製のコインや18金製フィギュアなどもファンから高い支持を得て、堅調に推移しました。

タイの子会社であるU-International Factory Co.,Ltd.におきましては、当社グループ内の好調な受注に対応するため、職人の増員や育成を通じて生産体制を強化しました。その結果、生産量が増加し、収益は改善傾向にあります。

なお、台湾の持分法適用関連会社における固定資産の減損損失の発生に伴い、持分法による投資損失を計上したほか、同社に対する貸付金等について貸倒引当金を計上しました。

以上の結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高7,891,708千円(前期比12.7%増)、営業利益179,883千円(前期比75.0%増)、経常利益81,373千円(前期比7.7%増)となりました。この結果、親会社株主に帰属する当期純損失は29,069千円(前年同期は親会社株主に帰属する当期純利益22,803千円)となりました。

（２）当期の財政状態の概況

（資産）

当連結会計年度末における資産合計は5,328,569千円となり、前連結会計年度末に比べ786,472千円の増加となりました。これは主に、関係会社株式が減少したものの、商品及び製品、仕掛品、並びに原材料及び貯蔵品が増加したこと等によるものであります。

（負債）

当連結会計年度末における負債合計は4,089,199千円となり、前連結会計年度末に比べ816,734千円の増加となりました。これは主に、短期借入金、契約負債、及び長期借入金が増加したこと等によるものであります。

（純資産）

当連結会計年度末における純資産合計は1,239,369千円となり、前連結会計年度末に比べ30,262千円の減少となりました。これは主に、利益剰余金が減少したこと等によるものであります。

（３）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ120,879千円増加し、1,142,168千円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により使用した資金は136,931千円(前年同期は44,055千円の使用)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益24,381千円、減価償却費108,464千円、及び契約負債の増加額296,170千円を計上した一方で、棚卸資産の増加額579,930千円を計上したことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は187,239千円(前年同期は139,924千円の使用)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出115,966千円及び無形固定資産の取得による支出40,748千円を計上したことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により獲得した資金は445,610千円(前年同期は191,983千円の獲得)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出397,805千円を計上した一方で、短期借入金の純増加額200,000千円、及び長期借入れによる収入650,000千円を計上したことによるものです。

（４）今後の見通し

2027年９月期におきましては、個人消費が引き続き堅調に推移すると見込まれることから、株高を背景とした資産価値の上昇による富裕層の高額品需要や、客単価の上昇を背景に、宝飾品市場は緩やかに拡大すると考えられます。一方、中東・ロシアをはじめとする地政学的リスクの高まり、原材料価格の高止まり、更なる円安の進行に伴う物価上昇などにより、先行き不透明な経済環境が続くことが予想されます。

このような事業環境のもと当社グループは、国内での新規出店や旗艦店の大型改装を進めるとともに、ブランド力を訴求するマーケティング施策を通じて新規顧客の獲得を図ります。また、リピート施策を強化してファンの拡大に努めるほか、国内外でライセンス商品やOEM商品の展開を積極的に進め、売上高の伸長を目指します。

原材料価格の高止まりが見込まれるなか、新商品開発を進めるとともに、国内外の自社工場における製造効率の更なる向上を図り、原価低減に取り組んでまいります。また、グループ全体でAIなどを活用した業務効率化や経費削減を進め、利益の確保に努めます。台湾の持分法適用関連会社についても、黒字化に向けたリバイバルプランを実行し、収益の改善を図ってまいります。

以上により、2027年９月期の連結通期業績見通しにつきましては、売上高8,356,115千円（前期比5.9%増）、営業利益250,874千円（前期比39.5%増）、経常利益208,874千円（前期比156.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益125,655千円（2026年９月期は親会社株主に帰属する当期純損失29,069千円）を見込んでおります。

２．会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、IFRSの適用については、国内外の諸情勢を考慮し、適切に対応していく方針です。

３．連結財務諸表及び主な注記

（１）連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年９月30日)	当連結会計年度 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,021,288	1,142,168
売掛金	438,958	445,313
商品及び製品	763,709	966,580
仕掛品	326,846	433,216
原材料及び貯蔵品	706,539	975,904
その他	145,532	282,022
貸倒引当金	－	△47,807
流動資産合計	3,402,875	4,197,396
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	380,802	391,972
機械装置及び運搬具（純額）	47,562	46,744
工具、器具及び備品（純額）	35,127	79,795
土地	43,000	43,000
リース資産（純額）	－	18,680
建設仮勘定	24,215	16,075
有形固定資産合計	530,707	596,268
無形固定資産		
ソフトウエア	53,779	63,478
その他	30,941	36,256
無形固定資産合計	84,720	99,734
投資その他の資産		
関係会社株式	85,028	－
差入保証金	345,097	332,603
繰延税金資産	85,427	96,055
その他	8,239	6,509
投資その他の資産合計	523,792	435,168
固定資産合計	1,139,221	1,131,172
資産合計	4,542,097	5,328,569

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年９月30日)	当連結会計年度 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	84,927	88,821
短期借入金	440,000	640,000
１年内返済予定の長期借入金	325,272	435,970
未払金	172,207	222,106
未払費用	221,085	211,064
未払法人税等	25,755	43,642
契約負債	833,126	1,129,297
賞与引当金	143,850	144,349
株主優待引当金	6,000	5,780
その他	47,351	35,267
流動負債合計	2,299,577	2,956,300
固定負債		
長期借入金	689,842	831,339
退職給付に係る負債	5,745	4,787
資産除去債務	277,278	283,751
その他	21	13,020
固定負債合計	972,887	1,132,899
負債合計	3,272,465	4,089,199
純資産の部		
株主資本		
資本金	55,040	55,040
資本剰余金	350,780	350,780
利益剰余金	847,014	817,944
株主資本合計	1,252,834	1,223,764
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	－	△1,856
為替換算調整勘定	16,797	17,461
その他の包括利益累計額合計	16,797	15,604
純資産合計	1,269,632	1,239,369
負債純資産合計	4,542,097	5,328,569

（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書

（連結損益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
売上高	7,004,176	7,891,708
売上原価	2,945,611	3,710,257
売上総利益	4,058,565	4,181,451
販売費及び一般管理費	3,955,757	4,001,568
営業利益	102,807	179,883
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,646	2,300
為替差益	10,377	4,766
その他	1,134	2,264
営業外収益合計	13,158	9,331
営業外費用		
支払利息	11,466	21,024
持分法による投資損失	22,099	86,293
支払手数料	6,314	－
その他	502	523
営業外費用合計	40,381	107,840
経常利益	75,584	81,373
特別利益		
受取保険金	－	8,106
特別利益合計	－	8,106
特別損失		
減損損失	13,245	－
固定資産除却損	－	7,013
関係会社貸倒引当金繰入額	－	47,807
情報セキュリティ対策費	－	10,277
特別損失合計	13,245	65,098
税金等調整前当期純利益	62,339	24,381
法人税、住民税及び事業税	42,096	63,067
法人税等調整額	△2,560	△9,615
法人税等合計	39,535	53,451
当期純利益又は当期純損失（△）	22,803	△29,069
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）	22,803	△29,069

（連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
当期純利益又は当期純損失（△）	22,803	△29,069
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	－	△1,856
為替換算調整勘定	2,624	663
その他の包括利益合計	2,624	△1,193
包括利益	25,428	△30,262
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	25,428	△30,262

（３）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自　2024年10月１日　至　2025年９月30日）

（単位：千円）

	株主資本				その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	30,000	152,300	824,210	1,006,510	14,173	14,173	1,020,683
当期変動額							
新株の発行	106,720	106,720		213,440			213,440
新株の発行（新株予約権の行使）	5,040	5,040		10,080			10,080
減資	△86,720	86,720		－			－
親会社株主に帰属する当期純利益			22,803	22,803			22,803
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					2,624	2,624	2,624
当期変動額合計	25,040	198,480	22,803	246,323	2,624	2,624	248,948
当期末残高	55,040	350,780	847,014	1,252,834	16,797	16,797	1,269,632

当連結会計年度（自　2025年10月１日　至　2026年９月30日）

（単位：千円）

	株主資本				その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	55,040	350,780	847,014	1,252,834	－	16,797	16,797	1,269,632
当期変動額								
親会社株主に帰属する当期純損失（△）			△29,069	△29,069				△29,069
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					△1,856	663	△1,193	△1,193
当期変動額合計	－	－	△29,069	△29,069	△1,856	663	△1,193	△30,262
当期末残高	55,040	350,780	817,944	1,223,764	△1,856	17,461	15,604	1,239,369

（４）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	62,339	24,381
減価償却費	88,749	108,464
減損損失	13,245	－
貸倒引当金の増減額（△は減少）	－	47,807
賞与引当金の増減額（△は減少）	10,031	457
株主優待引当金の増減額（△は減少）	6,000	△220
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	1,889	△1,083
固定資産除売却損益（△は益）	－	7,013
支払利息	11,466	21,024
持分法による投資損益（△は益）	22,099	86,293
売上債権の増減額（△は増加）	△31,393	△6,452
棚卸資産の増減額（△は増加）	△94,393	△579,930
仕入債務の増減額（△は減少）	△1,351	4,163
契約負債の増減額（△は減少）	△13,694	296,170
その他	△1,496	△104,951
小計	73,491	△96,861
利息及び配当金の受取額	1,646	2,289
利息の支払額	△11,550	△22,315
法人税等の支払額	△107,642	△45,180
法人税等の還付額	－	25,135
営業活動によるキャッシュ・フロー	△44,055	△136,931
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△92,340	△115,966
有形固定資産の売却による収入	680	－
無形固定資産の取得による支出	△41,875	△40,748
資産除去債務の履行による支出	－	△3,830
その他	△6,388	△26,693
投資活動によるキャッシュ・フロー	△139,924	△187,239
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	－	200,000
長期借入れによる収入	300,000	650,000
長期借入金の返済による支出	△324,525	△397,805
株式の発行による収入	213,440	－
新株予約権の行使による株式の発行による収入	10,080	－
その他	△7,011	△6,584
財務活動によるキャッシュ・フロー	191,983	445,610
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,295	△560
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	5,707	120,879
現金及び現金同等物の期首残高	1,015,581	1,021,288
現金及び現金同等物の期末残高	1,021,288	1,142,168

（５）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

当社グループは、製造小売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（１株当たり情報）

	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
１株当たり純資産額	1,203.21円	1,174.54円
１株当たり当期純利益又は１株当たり当期純損失（△）	21.87円	△27.55円
潜在株式調整後１株当たり当期純利益	21.13円	－円

(注) １．当連結会計年度の潜在株式調整後１株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、１株当たり当期純損失であるため記載しておりません。
２．当社株式は2024年10月８日付で名古屋証券取引所ネクスト市場に上場したため、前連結会計年度の潜在株式調整後１株当たり当期純利益については、新規上場日から前連結会計年度の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
３．１株当たり当期純利益及び潜在株式調整後１株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
１株当たり当期純利益又は１株当たり当期純損失（△）		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）（千円）	22,803	△29,069
普通株主に帰属しない金額(千円)	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失（△）（千円）	22,803	△29,069
普通株式の期中平均株式数(株)	1,042,772	1,055,200
潜在株式調整後１株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額（千円）	－	－
普通株式増加数（株）	36,623	－
（うち新株予約権（株））	(36,623)	(－)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後１株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	－	－

（重要な後発事象）
該当事項はありません。